

むらかみ産業元気NEWS

●問い合わせ 商工観光課商工振興係 ☎53-2111 (内線353)

市が実施している「産業等の活性化支援補助」を活用した事業者の取り組みとその内容を紹介します。
※今号の8～9ページで、この制度の事業計画の募集を掲載しています

いいものを作る

2回目は、村上地区片町にある成田屋菓子店さんです。

成田屋さんは、村上地区の北線といわれる県道沿いに事業所を構え、代表の成田昭一さんほか、数人の従業員で約50種類の菓子(主に和菓子)を製造・販売しています。

成田さんは、日頃から販売している葡萄(ぶどう)菓子に使用する地元の素材「山ぶどう」をジャムにできないかと考え、平成22年度に地域の特色ある産業資源を生かした事業に補助をする「産業元気づくり事業」の認定を受けて、その開発に挑みました。

店頭でお客様に意見を伺いながら試行錯誤を繰り返して、「この事業の認定を受けたからには、いいものを作らなければ」と開発に対する意識を持って、ようやく完成させたのが「山ぶどうじゃむ」です。今回の開発にあたって、普通は果肉から加工するジャムを、果汁から加工する点で大変苦労したそうです。また原料となる山ぶどうが秋にしか収穫できないため、数多く製造できないところが難点だそうです。

現在このジャムは、店頭やみどりの里、瀬波温泉で販売され、多くの人に喜ばれています。

成田さんは、「地域の素材にこだわらなないと面白くない」と、早くも次の新商品の開発に意欲的でした。



代表の成田さん。地域の素材を活かした新商品の開発に意欲的だ。



果汁から製造される「山ぶどうじゃむ」。



成田屋菓子店
代表:成田昭一
村上片町6-12
☎53-2715

編集後記

▶はじめまして。市報を担当しています◎です。市内のイベントなどでお会いする機会もあるかと思しますので、どうぞよろしくお願ひいたします。▶さて、この編集後記を書いているのは4月の半ば。先週は雪が降ったりもしましたが、今日は朝から暖かく、市役所周辺の桜もようやくほころび始めました。4月の忙しい時期で桜の見ごろを逃してしまうことが多いのですが、今年はいまだに使いこなせない一眼レフカメラをお供に、お城山など身近なお花見スポットを楽しみたいと思っています。◎

今月の表紙

4月9日(火)、三面川で行われた鮭稚魚放流式です。

当日は、天候に恵まれ、放流に参加した市内4小学校(村上小・村上南小・瀬波小・猿沢小)の4または5年生の児童約170人が、5万匹の稚魚を放流しました。

児童たちは、「4年後に帰ってこいよ。」と声をかけながら笑顔で送り出していました。

市の木・花・鳥(平成23年1月20日制定)



むらかみ防災・防犯情報ねっと

メールでいつでもどこでも緊急情報をキャッチ!
<http://www.city.murakami.niigata.jp/i/ml/>
右のQRコードで読み取るだけで簡単アクセス



編集・発行 村上市政策推進課
〒958-8501 新潟県村上三之町1番1号
☎0254(53)2111内線531 FAX 0254(53)3840



市報むらかみは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい大豆インクを使用しています。

印刷 村上印刷株式会社